

# 01 気になるカードで話してみよう

すべて

全部のカードを並べ、参加者一人ひとりが気になるカードを選んで話をします。  
なぜ気になったのかを語り合うことで、お互いの考え方や興味、経験を知るきっかけになります。  
全カードを見ることができますので、メディアコンパスカードの全容を知ることができます。  
**02、03、04**のワークでも取り入れています。  
メディアコンパスのワークに限らず、様々な会合等でも、アイスブレイクや自己紹介に活用できます。



## 02 情報発信を始めよう！

J+E

このワークは初心者やこれから情報発信を始める人を対象に、前半ではローカルメディア活動の醍醐味や社会的価値を、後半ではメディアの現場での出来事を知り、自分ごととして考えてみます。情報発信活動に良いイメージを持つこと、一般社会でも役立つ情報発信のポイントを知ることがゴールです。

**準備するもの：**現場対応・見解シート（1グループ4枚）、筆記用具

**対象：**メディアの新人スタッフ、市民ライター、ライター志望の方、情報発信してみたい人 など

**人数：**3～7人

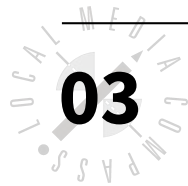
**所要時間：**1時間30分

### ヒント

このカードはメディアの現場の経験談が書かれています。正解はありません。それぞれの心の中に指針をもつきっかけにするためのカードです。自分の気持ちを言葉にし、他者との違いに気づくことで、あなた自身の指針づくりの参考にしてください。

### ワークの流れ（進行役の人が必要に応じて声に出して読みながら進めてください）

- 0:00**     **ローカルメディアの醍醐味を知ろう**
- <ローカルメディアは楽しい編（J）>のカード10枚を並べます。順番を決め、一人ずつ1番のカードから読み上げましょう。読み上げ終わったら、参加者同士で気になったエピソードについて話してみましょう。また、カードに書かれているいくつかの質問について話しましょう。20分を目安に全員が話します。皆が情報発信活動に前向きな気持ちになっていると成功です。
- 20:00**     **情報発信の現場のシミュレーション**
- 進行役と書記役を決めましょう。進行役は時間管理をします。1枚のカードについて考える時間は5分です。進行役は1枚ずつ<現場対応 最初の一步編（E）>のカードを読み上げます。エピソードの状況について、その下の<問い>をきっかけにどう思ったかを、グループ全員で話しましょう。グループのみんなで、この時はどうするべきか、グループでの見解を文章化してみましょう。書記役は各自の発言を書き留め、時間内にまとめます。
- ★7枚程度くりかえしましょう（40分間）**
- 全部終わったら、各カードについてどんな見解をまとめたのかを読み上げましょう。
- 60:00**     **気になるカードについて話してみよう**
- 改めて全部のカードを並べ、01のワークを行います。カードをみて質問や発言をしてみましょう。
- 1:20:00**     ワークを体験し、どんな気持ちになったかを意見交換しましょう。
- 1:30:00**     終了



## 03 現場で考える私の方針

B

このワークは、情報発信に関する活動をしている人が対象です。参加者には、あるローカルメディアの編集部メンバーとってもらいます。

進行役が5分ごとに新しいカードを読み上げて次々と現場で起こる出来事を発表していきます。読み上げるカードの状況に関して、チームでどう対処していくのかを時間内に話し合っていきます。参加者個人が自分の中にメディアリテラシーを持つことを意識し、メディアの現場対応力が一定程度身につくことがゴールです。

**準備するもの：**現場対応・見解シート（1グループ5枚）、わたしの行動指針シート（人数分）、筆記用具

**対象：**メディアの記者や経験者、情報リテラシーに関心のある人 など

**人数：**3～7人※参加者以外に進行役を設けることを推奨します

**所要時間：**2時間

### ヒント

このカードはメディアの現場の経験談が書かれています。正解はありません。

それぞれの心の中に指針をもつきっかけにするためのカードです。

自分の気持ちを言葉にし、他者との違いに気づくことで、あなた自身の指針づくりの参考にしてください。

### ワークの流れ（進行役の人が必要に応じて声に出して読みながら進めてください）

#### 0:00 アイスブレイク

B以外のカードを並べ、01「気になるカードで話してみよう」を行います

#### 20:00 本編 現場で考える私の方針

<現場対応 経験者編 (B)>のカードから10枚を選んで使います。

初めて体験する場合はB1～7の順で使用するとスムーズです。

残りの3枚は8～15の中から選んでください。

皆さんはあるローカルメディアの編集部員です。10枚のカードを順番に進行役が読み上げます。

その状況を想像し、自分だったらどのように対処するかを意見し合います。

1枚のカードについて考える時間は5分です。

話し合う中で、グループとしての見解（対応策）をまとめましょう。

参加者持ち回りで書記役を担当し、<現場対応・見解シート>に記入しましょう。

書記役は皆の意見を書き留め、時間内にまとめます。

時間内に意見をまとめて文章化するのも力の見せ所だと思って頑張ってください。

全部終わったら、各カードについてどんな見解をまとめたのかを読み上げましょう。

**1:20:00** 複数のグループでワークを実施した場合は、各グループどんな見解をまとめたのかを発表します。1グループの場合は読み返しましょう。

#### 1:40:00 チェックアウト

これまでの話し合いや自身の経験をもとに、「わたしが大切にしたい行動指針」を考えましょう。

<わたしの行動指針シート>に記入し、各自書いた内容を発表しましょう。

**2:00:00** 終了



# 04 編集部でコンパス作り

A

みなさんのメディアに行動指針はありますか？  
カードには「メディアと社会の関わり」についての出来事が書かれています。  
カードを使って仲間と話すことで、自分たちならどうするのか、今後のメディアの行動指針作成の導入にしてください。

**準備するもの：**現場対応・見解シート（5枚）、わたしたちの行動指針シート（1枚）、筆記用具  
**対象：**メディアの編集部、制作チーム  
**人数：**2～7人  
**所要時間：**2時間

ワークの流れ（進行役の人が必要に応じて声に出して読みながら進めてください）

## 0:00 アイスブレイク

A以外のカードを並べ、01「気になるカードで話してみよう」を行います

## 20:00 本編 編集部のコンパス作り

<デスク・メディア運営編 (A)>のカードを裏にして並べます。  
参加者の中からカードを選ぶ順番を決めます。  
タイムキーパーと書記役も決めましょう。持ち回りにしても構いません。  
一人ずつ、自分たちにとって関心のあるカードを選び、読み上げます。  
そのカードの状況を想像し、自分たちであればどのように対処するかを意見合しましょう。  
制限時間は1枚おおよそ5分です。  
時間が来たら書記役が中心となり、1問ずつグループとしての見解を文章にまとめましょう。  
7枚～10枚ほどを目安に、時間が来るまで続けましょう。

1:20:00 <わたしたちの行動指針シート>にこれまで話し合った現場対応の見解を書き連ねます。  
どんな見解が出たのかを読み上げます。

## 1:40:00 チェックアウト

参加者全員で<わたしたちの行動指針シート>について意見を交わし、自分たちなりに指針をまとめたり、加えたりするしたら何なのかを話し合います。

## 2:00:00 終了

※話し合った状況以外にも編集部メンバーと共有したい経験談がある場合は、  
<白紙カード>を使って自身のエピソードと問いを書き、メディアコンパスカードをカスタマイズしてください。今後このカードを、研修に使用したり、自分たちの編集スタンスを確認したりするために活用してください